

水質汚濁防止法に基づく第 8 次総量削減計画の達成状況等について

1 総量削減制度の概要

- 伊勢湾（三河湾を含む。）、東京湾、瀬戸内海といった広域の閉鎖性水域は、地形的な条件から水の交換がしにくく汚濁物質が滞留しやすい。また、後背地に人口、産業が集中し大量の汚濁物質が流入する。このため、水質汚濁防止法に基づく排水基準の規制（濃度規制）のみでは、環境基準の達成の確保が困難である。
- 総量削減制度は、濃度規制のみでは環境基準の達成が困難な閉鎖性水域の水質改善を図るため、すべての汚濁発生源からの汚濁負荷量の総量を、総合的・計画的に削減することを目的とする、水質汚濁防止法に基づく制度である。
- 本制度に基づき、これまで5年毎8次にわたる総量削減が実施されてきた。

2 削減対象

- ・ 化学的酸素要求量（COD）
- ・ 窒素含有量
- ・ りん含有量

3 対象地域

東京湾、伊勢湾（三河湾を含む）、瀬戸内海

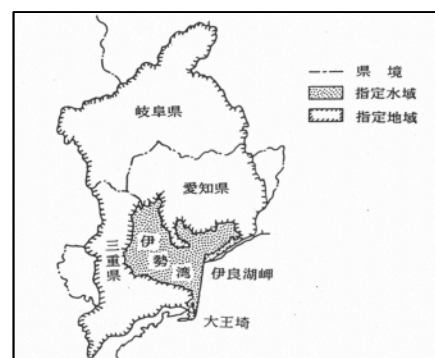


図 1 伊勢湾の対象地域

4 総量削減計画

- 環境大臣は、削減の目標、目標年度、その他汚濁負荷量の削減に関する基本的な事項を「総量削減基本方針」として定めることとされている。
- 都道府県知事は、国の基本方針に基づき、削減目標量、削減目標量の達成の方途等に係る「総量削減計画」を策定し、必要な措置を講ずることとされている。
- 都道府県は5年毎に総量削減計画を策定している。

5 愛知県の第 8 次総量削減計画の達成状況

【目標年度】

2019（令和元）年度

【削減の方途】

- ・ 下水道、浄化槽等の生活排水処理施設の整備を推進する。
- ・ 事業場に対し、汚濁負荷の削減指導を行う。
- ・ 環境保全型農業や、家畜排せつ物の適正管理を推進する。 等

【削減目標達成状況】

	2019 年度目標量	2019 年度実績
化学的酸素要求量（COD）	74	73
窒素含有量	57	56
りん含有量	4.4	4.5

達成

達成

非達成

6 これまでの削減実績

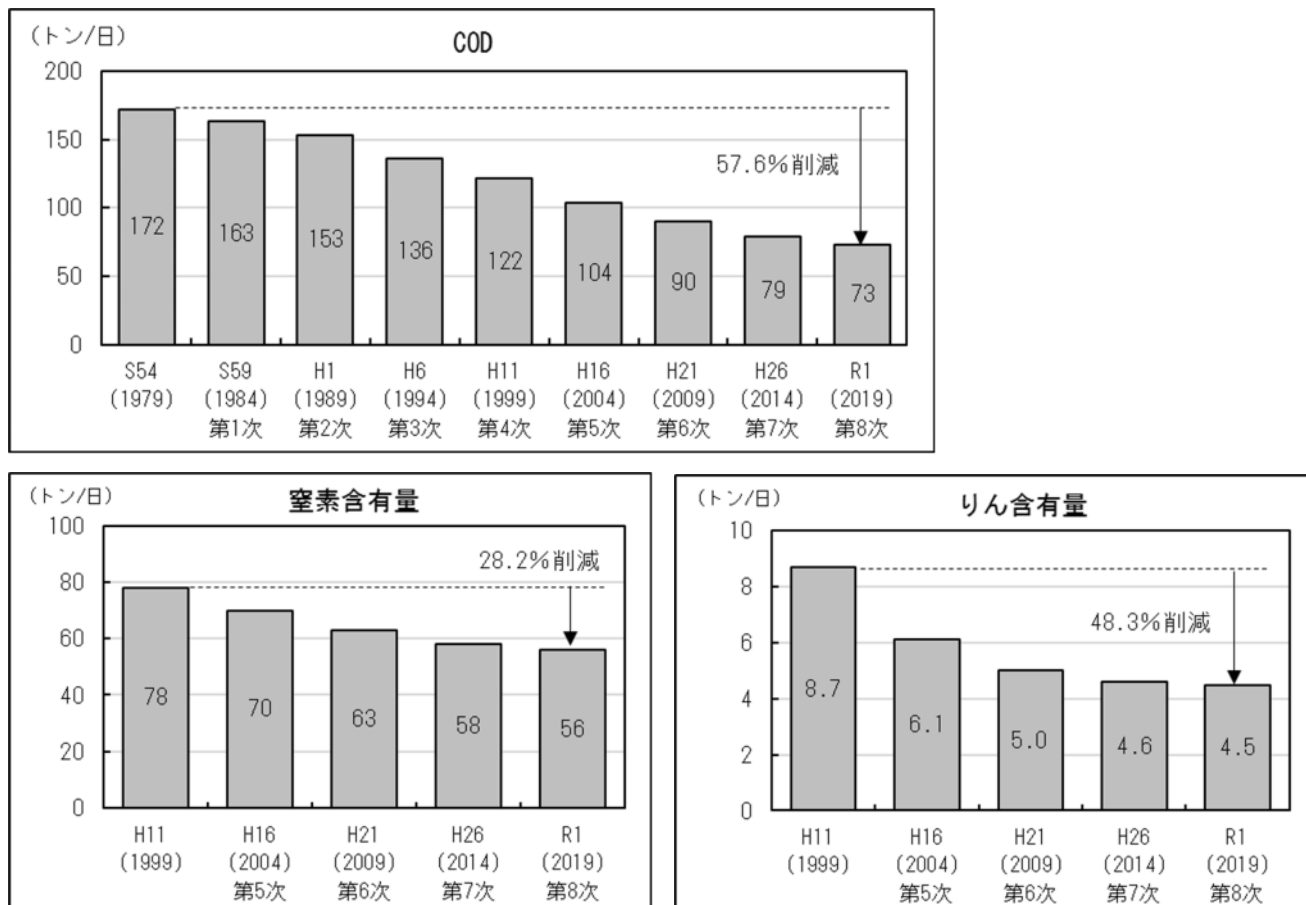


図2 総量削減制度による削減経過（COD、窒素含有量、りん含有量）

※窒素含有量、りん含有量については、第5次から総量削減の対象となった。

7 国の動きと今後のスケジュール

- 第9次の「総量削減基本方針」の策定に先立ち示された、「第9次水質総量削減の在り方について（中央環境審議会答申）」において、伊勢湾は、CODは環境基準達成率が低いいため、引き続き負荷削減する必要がある、窒素・りんについては環境基準達成率が高いため、更なる規制の強化は行わず、これまでの取組を維持することが妥当とされた。
- 2022（令和4）年1月24日には、前述の「在り方」を受けて、第9次の「総量削減基本方針」が、国により策定された。
- 県は、2022（令和4）年1月28日に、愛知県環境審議会に「総量削減計画の策定等」について諮問した。今後、水質・地盤環境部会において計画の内容等について審議される。
- 第9次総量削減計画は、2022（令和4）年度秋頃に策定予定である。

<総量削減基本方針（1月24日策定）に示された愛知県の総量削減目標量>

	2024年度目標量	2019年度実績
化学的酸素要求量（COD）	70	73
窒素含有量	55	56
りん含有量	4.4	4.5

8 伊勢湾の環境基準の達成状況
(1) COD

表1 CODの環境基準達成状況

類型（環境基準）	水域数	環境基準達成水域数		
		2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)
A（2 mg/L 以下）	3	0	0	0
B（3 mg/L 以下）	3	1	0	1
C（8 mg/L 以下）	5	5	5	5
計	11	6	5	6
達成率	—	54%	45%	54%

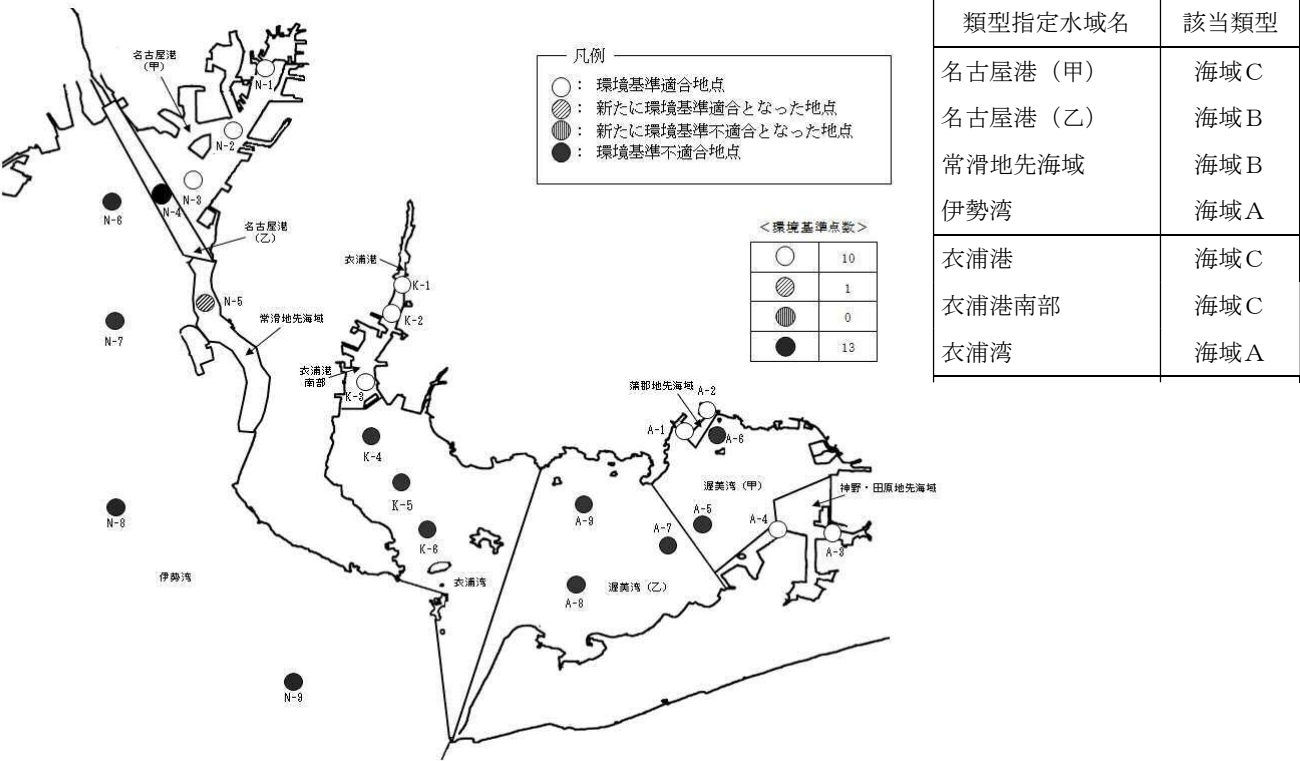
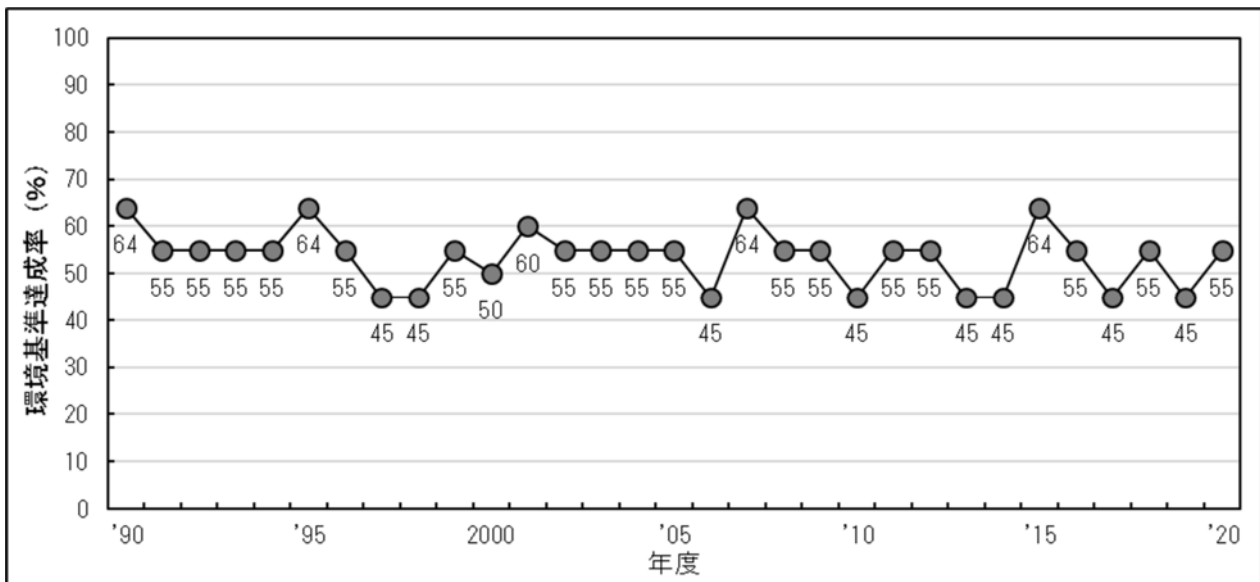
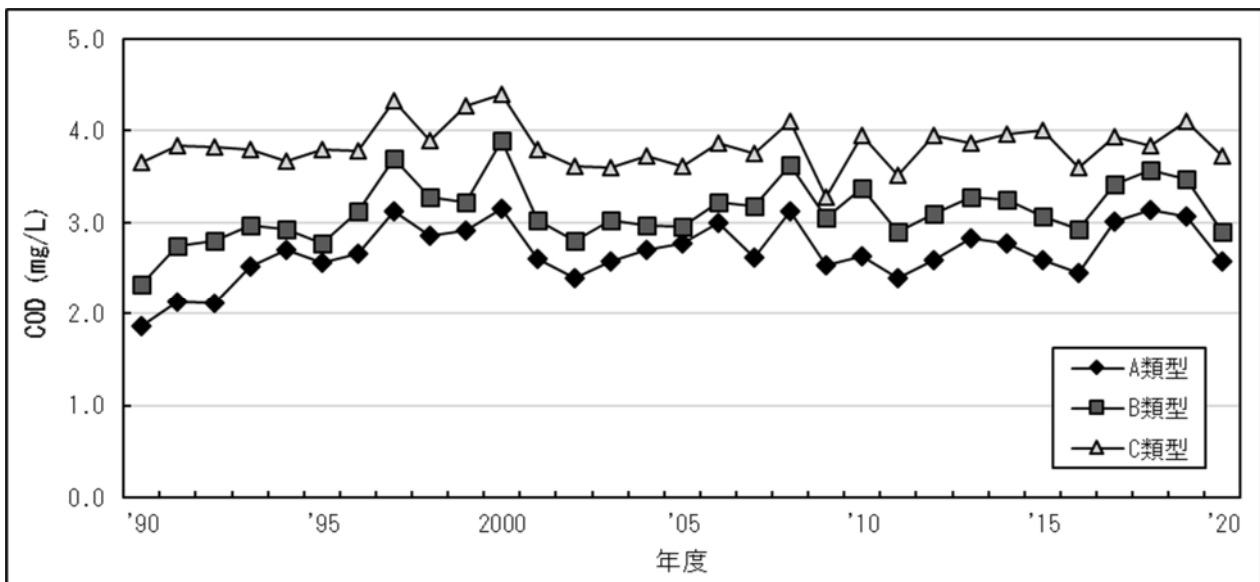


図3 CODの環境基準適合状況（2020（令和2）年度）



(注) 達成率(%) = 達成水域数 ÷ 総水域数 × 100

図4 CODの環境基準達成率の推移



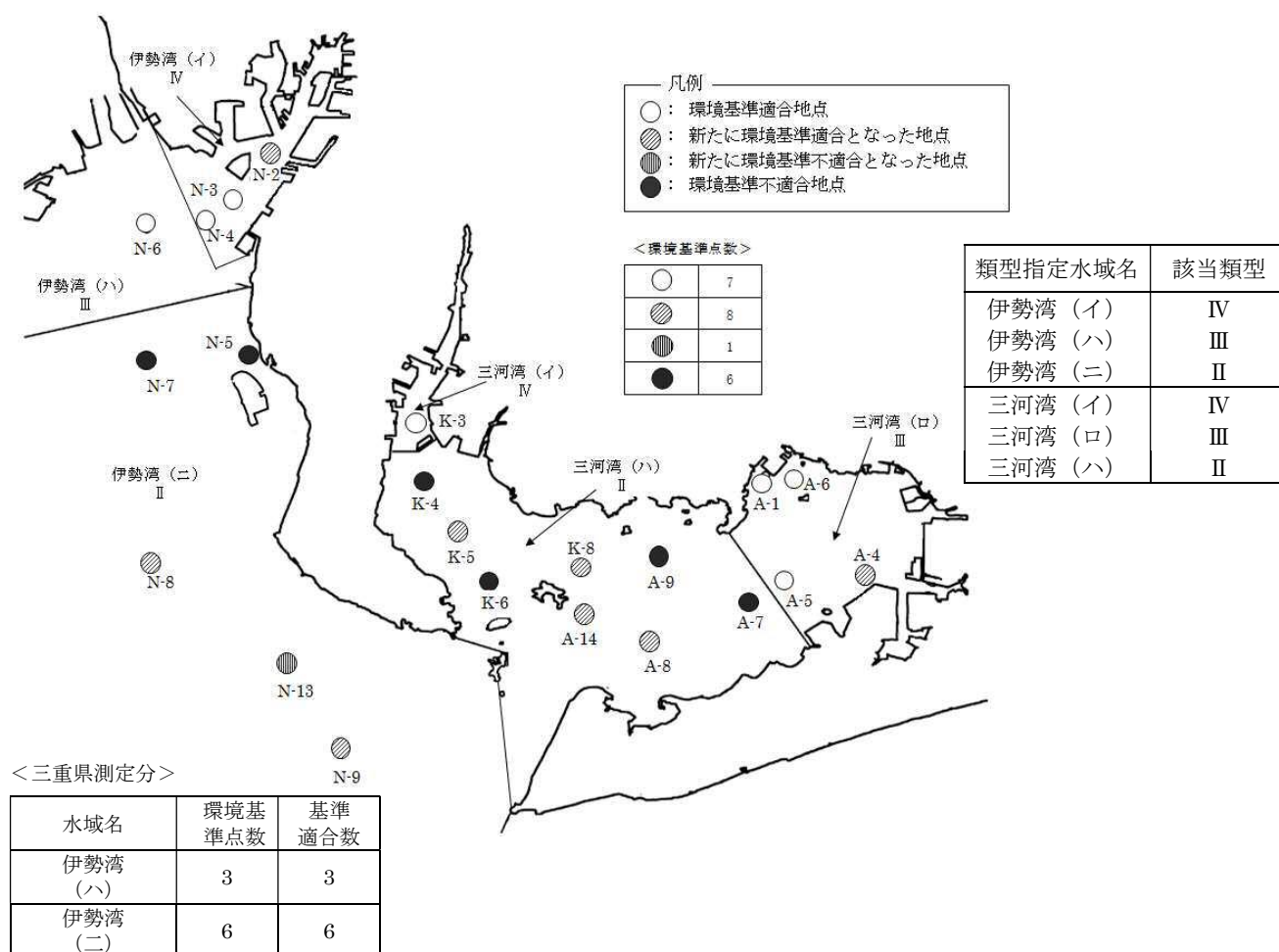
(注) 類型指定ごとの環境基準点の年平均値の平均

図5 CODの平均濃度の推移

(2) 全窒素

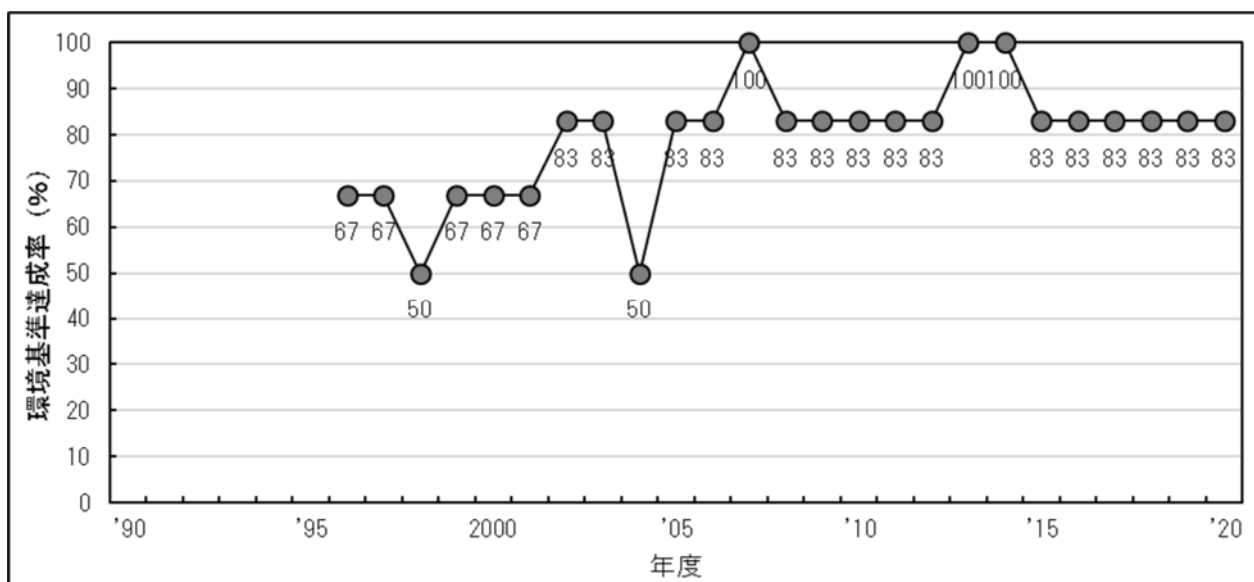
表2 全窒素の環境基準達成状況

類型（環境基準）	水域数	環境基準達成水域数		
		2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)
Ⅱ (0.3mg/L 以下)	2	1	1	1
Ⅲ (0.6mg/L 以下)	2	2	2	2
Ⅳ (1 mg/L 以下)	2	2	2	2
計	6	5	5	5
達成率	—	83%	83%	83%



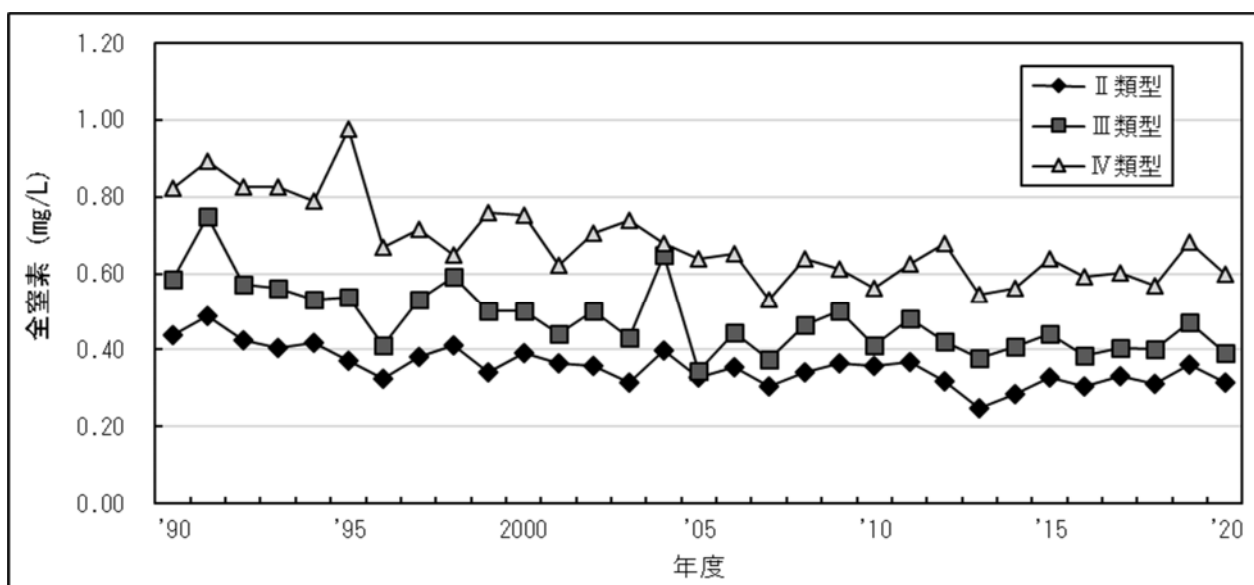
*伊勢湾 (ハ) 及び伊勢湾 (ニ) では、三重県の調査結果も使用して環境基準達成を評価します。

図6 全窒素の環境基準適合状況 (2020 (令和2) 年度)



(注) 達成率(%) = 達成水域数 ÷ 総水域数 × 100

図7 全窒素の環境基準達成率の推移



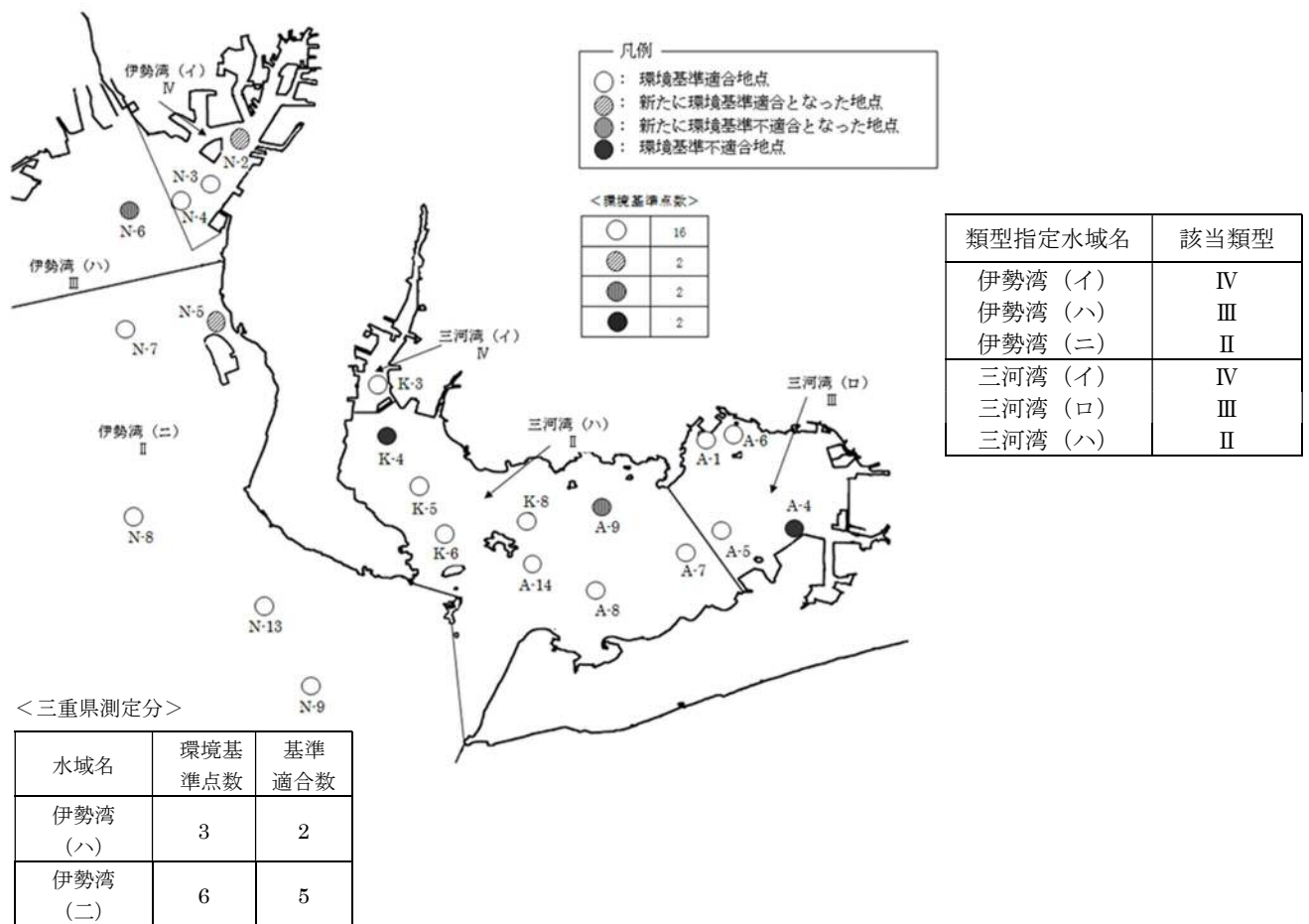
(注) 類型指定ごとの環境基準点の年平均値の平均

図8 全窒素の平均濃度の推移

(3) 全りん

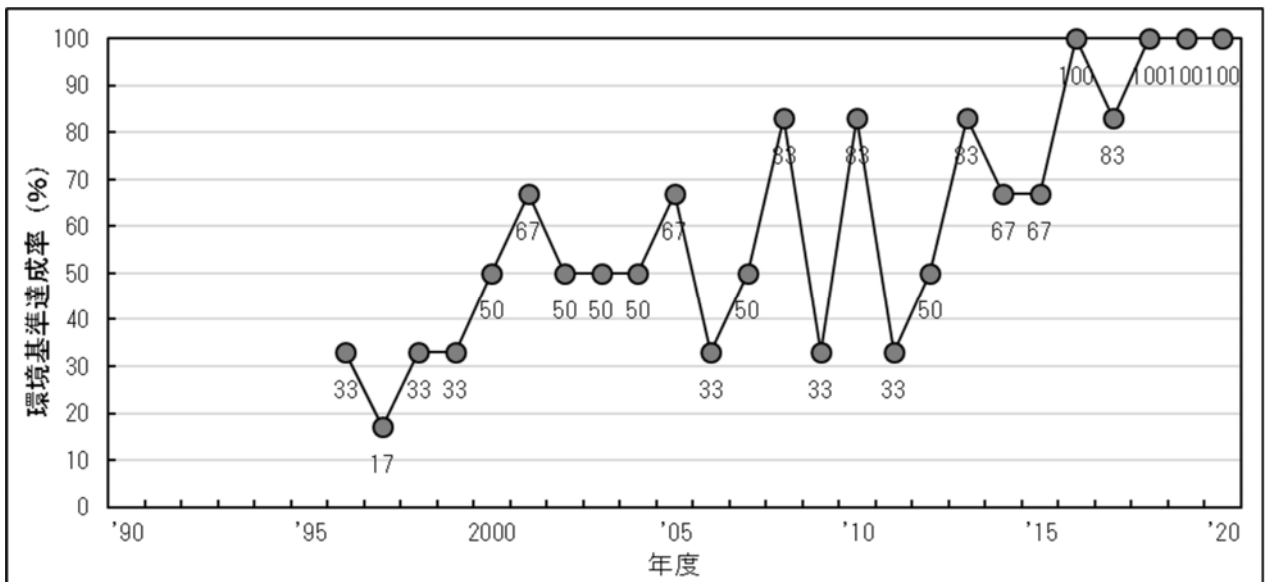
表3 全りんの環境基準達成状況

類型（環境基準）	水域数	環境基準達成水域数		
		2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)
Ⅱ (0.03mg/1 以下)	2	2	2	2
Ⅲ (0.05mg/1 以下)	2	2	2	2
Ⅳ (0.09mg/1 以下)	2	2	2	2
計	6	6	6	6
達成率	—	100%	100%	100%



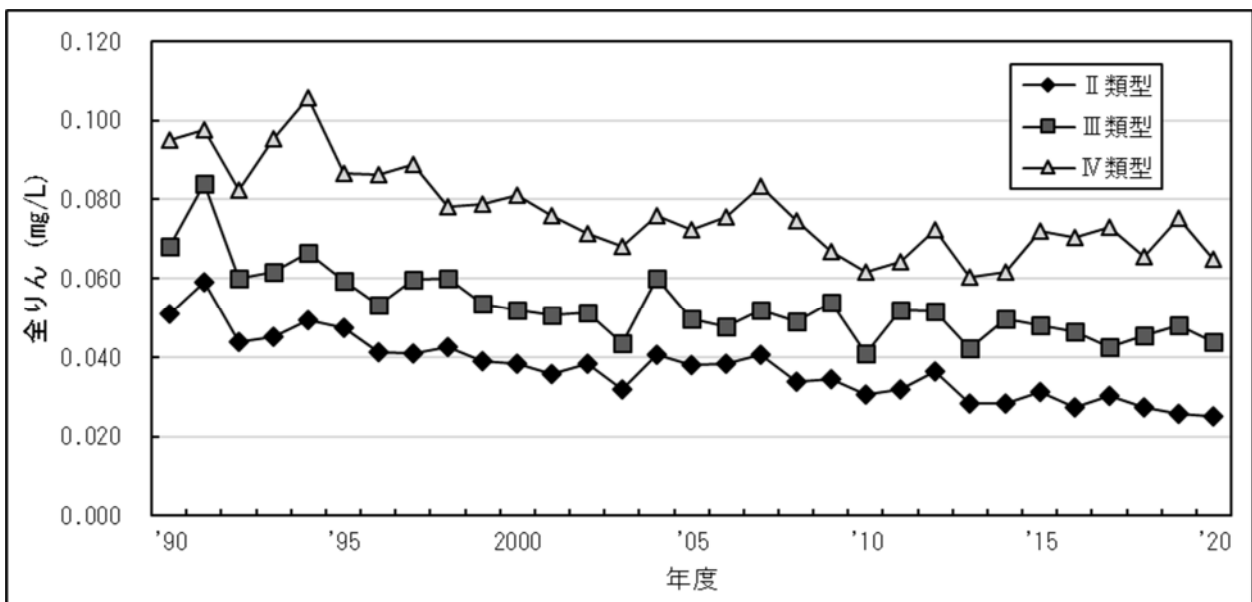
*伊勢湾 (ハ) 及び伊勢湾 (ニ) では、三重県の調査結果も使用して環境基準達成を評価します。

図9 全りんの環境基準適合状況（2020年度（令和2）年度）



(注) 達成率(%) = 達成水域数 ÷ 総水域数 × 100

図 10 全りんの環境基準達成率の推移



(注) 類型指定ごとの環境基準点の年平均値の平均

図 11 全りんの平均濃度の推移

<参考>

○ 総量削減制度の概要

総量削減制度の概要は、下図のとおりである。

